

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2022.08 >

BULLETIN

2022年7月～2023年6月



国際会長 K・C サミュエル「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」(インド)
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン「新しい時代と共にエレガントに変化を」(台湾)
東日本区理事 佐藤重良「未来に向けて今すぐ行動しよう」(甲府 21)
関東東部部長 工藤大丈「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじる。
すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」(東京ベイサイド)
クラブ会長 樋口順英「安全・愉快・安心」(東京グリーン)

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 布上征一郎
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 木村 卓司

8月 休息の時

「すなわち、あなたがたを悩ます者には患難をもって報い、悩まされているあなたがたには、わたしたちと共に休息をもって報いて下さるのが、神にとって正しいことだからである」。(テサロニケ人への第2の手紙 1章6節)

:私たちが悩ます人たちのことは神に任せて、私たちは十分休息をとって来るべき秋の収穫期に備えることに集中したい。

2022年08月例会

日時:2022年08月17日(水) 15:00～17:00



【納涼リモート懇親会】

ZOOM進行:布上君
開会点鐘 樋口会長
ワイズソング・ワイズの信条 全員
聖句・お祈り 西澤君
ゲスト・ビジター紹介 樋口会長
乾杯 青木君

～～自由にお飲み物を持って乾杯を～～

懇談:・近況報告(どなたでも)
・50周年記念行事検討
・神田川催行準備の確認 等々

Happy Birthday (8月は該当者おりません)
YMCA 情報 木村君
閉会点鐘 樋口会長

【例会出席率】 在籍:15名 7月出席率8/15 53%

出席:7月 ハイブリッド例会
(東京 YMCA 東陽町センター)
(メン8名、メネット1名) 計9名

【ニコニコ】(*)

新年度を迎えて

書記 布上征一郎

今年度も引き続きクラブ書記、
ブリテン担当を務めます。何卒宜しく
お願いいたします。

昨年度は図らずも東日本区大会に
於いて「最優秀クラブ賞」を受賞させ
ていただきました。「神田川船の会」

の催行が決め手になったようですが、何よりもワイズ、
YMCA の皆様のご協力によるもので、更にクラブ一丸とな
って取り組むCS事業として大切にまいりました。本当
に心より感謝申し上げます。

今年度は1973年4月8日のクラブチャーターから来年
2023年には50周年を迎えます。2013年に設立40周年記
念会、更に2018年に同45周年記念の会を催し、多くのワ
イズの皆様にご参加をいただきました。来年迎える大きな
節目の50周年をどのような形にするか、検討が始まりまし
た。この10年の間にはクラブの重鎮会員が数名他界され
ております。その方々の在りし日を偲び、現在の我々が出
来る範囲で50周年の区切りとして記念の会を催したいと
考えております。

私は2001年入会なのでワイズ歴はまだ21年ですが、
年齢は「傘寿」を迎えました。グリーンの皆さんも「幸齢者」
が多くどこまでどのように出来るか分かりませんが、真剣に
取り組んでまいります。

また、次回「神田川船の会」は11月5日(土)の開催を目
指して準備を進めております。何よりも、コロナ問題が落ち
着くことを願っております。



2022年07月 第一例会 報告



2022年07月20日(水)第一例会は6月に続き東京 YMCA 東陽町にて15:00~17:30Zoomハイブリッドで行った。出席は会場に樋口・柿沼・木村・布上(征)・根本各々、布上(信)メネットの6名そしてゲストスピーカー松本氏が出席。ZOOM参加で青木・西澤・佐野の参加。

特別に講演をお願いした、東京 YMCA 国際事業部統括・松本数実氏のスクリーンを使ってのたっぷり1時間に及ぶ講演は素晴らしく、ZOOMの録画から抜粋して記載する。今期のスタートでもあり講演内容を「2022年度東京 YMCA の方針」と今知っておきたい「東京 YMCA とウクライナ問題について」と、欲張って二つの課題をお願いした。

「東京 YMCA 今年度の運営方針」は他の場所でも発表されているが、要約すると以下の五つのテーマを踏まえて各事業部で活動していく。

- 1, Positive well-being「人、市民社会、地球の健康のために」
- 2, Youth Empowerment「若い力が YMCA で輝くように」
- 3, Technology for social inclusion & diversity
「誰も置き去りにしないために」
- 4, Partnership 「既存の枠組みや領域を超えて繋がるように」
- 5, Change Agent 「YMCA に連なるすべての人がよりよく変えたいと思うように」

以上について具体的に内容を話された。

次のテーマである、ウクライナ YMCA/ロシア YMCA/東京 YMCA の関連では、ウクライナとは 2002 年より折り紙交流を始めており歴史は古い。ロシア YMCA とも現在でも水面下で交流がある。ウクライナ YMCA では各国の支援を得て活動している。

緊急物資配布 人道支援

全20拠点の活動
60団体からの募金を得て44,500人に援助。



ウクライナの国内は下記のような状況になっている。

ウクライナ国民4,400万人
半数の2,200万人が危機にさらされている。
1,500万人が家を出て避難中。
690万人がウクライナ国外へすでに避難。
800万人が国内移住。
避難民の90%は女性、子ども。
すでに4000人以上の市民が戦争で亡くなった。(マリウポリは含まず)
(マリウポリでは推測で20,000~50,000人?)
子どもの死者は250人以上。
4,800人の市民が負傷。
毎日平均60-100人の前線の兵士が戦死し、約500人が負傷。
38,000の住宅、住居が破壊。
1,900の教育施設が攻撃。
180の幼稚園、小中高等学校、大学が完全に破壊。
500の病院が攻撃。
500の工場が攻撃。
350の橋が攻撃。



松本氏のビデオによる現状報告、更にロシア YMCA のメンバーから松本氏に送られたメール(私信)も公開され、如何に無益、無謀な侵略が行われているかを痛感させられた。東京 YMCA は「国境なき医師団」に倣って「国境なき人道支援団」として政治的意味を持たずに活動している。松本氏に対する質疑、応答もあり時間は大きくオーバーした。たまたま、氏が7月生まれと伺い、会からささやかなお祝いを進呈して、例会を修了した。



Happy birthday
カード7月生まれ。
樋口会長から松本氏と
布上メネットの二人に贈呈。
(布上 記)

2022年08月 第二例会 報告

2022年08月10日(水)第二例会は 5:00~16:30 での Zoom リモートで行われた。



出席は樋口・青木・柿沼・目黒・西澤・佐野・布上の7名。事前配布のレジュメに沿って協議。特に、柿沼氏提案のグリーンクラブ・チャーター50周年記念行事を行うにあたって、日程・会場・人数・イベントなどなど具体的に検討に入るために委員会の設定を行う事を決めた。

更にコロナ禍で延期されていた「神田川船の会」を次回は11月5日(土)に開催することで決定し、その為の準備に入った。委員会を設定し慎重に進める事になった。役員会での協議事項は次の通り。

(3pに続く)

≪ 8月10日クラブ役員会協議内容 ≫

- 1) 8/17納涼例会は、中止とした。
当初予定：(銀座ライオン七丁目2F 15:00~17:00
(西本メン予約済) 食べ放題・飲み放題
会費：6500円・・・(中止の件は西本メンご承知)
- 2) 9/21(水)9月例会の現状は下記予定。
・場所;東陽町(リアルまたはハイブリッド)
・時間;17:00~19:00 弁当?大新
・卓話予定者;YMCAにほんご学園望月校長
- 3) 11/5(土)神田川船の会関係
京都パレスクラブからご参加希望(10-15名)があり。
大いに歓迎いたします。
- 3) 1973~2023/04/08 「グリーンクラブ設立50周年」
記念行事実行委員会立ち上げ日程と会場の選定を
例会で決定する。
*キャビネット(樋口会長・青木副会長・柿沼会計
布上書記)4名+目黒(神田川実行委員長)
- 4) 8/8~9/30 東京YMCA「オンライン芸術祭」
樋口、布上 出展済
- 5) 9/3(土) YMCA「防災街歩き」募集中
- 6) 9/29(木)YMCA「認知症サポーター養成講座」募集中
- 7) 10月15日~チャリティーラン参加の件 予算5万円、
従来通り北クラブとの共同負担 (樋口・布上 記)

2022-2023 年度関東東部第1回評議会

7/23(土)関東東部第1回評議会(ZOOM)が開催された。
東京ベイサイドクラブ工藤大丈部長年度、最初の評議会
がスタートした。工藤部長の今期の主題は
「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじ
る。すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」
更に基本方針は「もう一度原点に立ち返り、ヴォランティア
の楽しさを体験、体現する」と発表された。大いに賛成で
す。新規ヴォランティア事業の立ち上げは至難の業。まずは
今、各クラブが行っている事業などを見直したいもの。
各事業主査、各クラブ会長より力強い活動方針が発表
された。工藤部長の采配は見事で、リモート会議に慣れて
いる様子がうかがえ、発言内容にも大いに期待できる印象
であった。AM9:30~11:30の開催。

クラブ出席:樋口、布上、柿沼

クラブ内には配付された評議会pdfファイルを画面共有
して説明した。(布上 記)

ご 連 絡

今期より会計担当は柿沼になります。

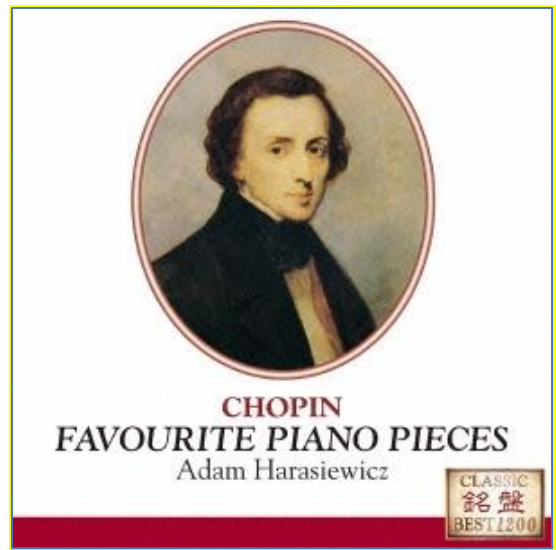
クラブ年会費など、振込み口座

京葉銀行 こてはし台支店 (普通) 3856346

カキヌマ ケイキ 名義

VIVA! CLASSICAL

ポーランドの誇り「英雄ポロネーズ」



作曲:フレデリック・ショパン(1810~1849)

「ピアノ名曲集」からポロネーズ第6番「英雄」(1842)

ピアノ:アダム・ハラシェヴィッチ(1932-)

(1967年録音)

今回は、地政学的に隣国に翻弄された歴史を持つ国、
ポーランド出身の「ピアノの詩人」ショパン、曲は「英雄ポ
ロネーズ」です。

「ポロネーズ」という名称は、フランス語で「ポーランド風
の」という意味であり、17世紀バツハの時代に宮廷舞踊の
ひとつとして認知され、以来、バレエ音楽などにも用いら
れました。

ショパンの英雄ポロネーズは、1842年パリで作曲され、
当初はフランス 2 月革命(1848)の士気高揚をはかる音
楽にもなったようですが、いまやポーランドにとっての特
別な曲であり、世界中が元気をもらう曲ともなっています。

ショパンの父はフランス人、母はポーランド人で、1810
年ワルシャワ郊外の比較的中流の家庭に生まれました。
幼少時はワルシャワに住み、音楽の才能を開花させ、182
9年19歳でワルシャワ音楽院を首席で卒業します。

しかし20歳の時ウィーン演奏旅行中、1831年ワルシャ
ワ蜂起がおこりました。愛国主義者の彼は無念の思いで
単独パリに移住し、当地在住のポーランド人貴族やインテ
リ階級からのサポートを受けながら、華々しく創作活動
を行いました。しかし2度と祖国の土を踏むことなくフランス
で39歳の生涯を全うしました。

推奨 CD は、ポーランド出身アダム・ハラシェヴィッチで
す。1955年第5回ショパン国際コンクールの優勝者で一
世を風靡した人です。(2位がアシュケナージで、評価が
分かれたようです)

名曲全16曲を数十年ぶりに改めて聴いてみると、飾り
気が少なく直球勝負の演奏に心が洗われました。

ショパンのライブ体験は、1981年NHKホールでのダ
ン・タイ・ソン(ベトナム出身の1980年第10回同コンク
ール優勝者)のリサイタルです。プログラム第1曲目「舟歌」
はハノイののどかな田園風景でした。(樋口 記)

- 6月24日、「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」を日本基督教団霊南坂教会で開催し、約120名が来場。飯靖子氏(オルガン)、方波見愛氏(ピアノ)、飯頭氏(ヴィオラ)による演奏と、西山利佳氏(児童文学研究者)によるウクライナ民話絵本「てぶくろ」の朗読が好評でした。また席上、松本数実国際・総合教育事業部統括より、ウクライナYMCAから届いた映像を交えながらYMCAのウクライナ支援活動について報告があり、終演後に募金協力を呼びかけたところ、217,325円が寄せられました。なお、10月28日にもウクライナ緊急支援チャリティーコンサート第2弾を予定しています。
- 2022年3月に開始したウクライナ緊急支援募金は、7月23日現在、10,593,797円が寄せられています。ウクライナYMCA、日本YMCA同盟、ヨーロッパYMCA同盟等を通じて、ヨーロッパ近隣諸国や日本で避難生活を送るウクライナの人々を支援するための活動に用います。また、ウクライナの人々を励ますために、ウクライナYMCAの Viktor Serbulov 総主事に、東京YMCAスタッフ有志が作成したビデオメッセージを送り、今後東京YMCAの子どもたちからのメッセージ動画も送る予定です。
- 8月1日～9日、この世で一番かけがえのない大切なもの…。それは「いのち」そのかけがえのない大切な「いのち」を、一瞬にして奪う原子爆弾の脅威。広島・長崎原爆の日や終戦の日を迎える8月に、今一度平和の大切さ、一人ひとりの「いのち」を守ることの大切さを考える機会になればと願い、広島原爆資料館所有の「サダコと折り鶴」のパネル展を開催いたしました。



- 8月8日より、東京YMCA 会員芸術祭が開催されています。昨年は東陽町センターを会場としてリアル開催していましたが、今年はコロナの感染拡大防止の観点から、2020年同様に東京YMCAのHP内にて、オンラインでの開催としました。実際の作品を直接みながら、観覧される方々と触れ合いの機会が持てないことはとても残念ではありますが、今年もバラエティーに富んだ作品内容で、出展者の年齢も様々、個性豊かな作品が数多く集まりました。作品それぞれに作者からのコメントも入っていますので、併せてご覧ください。(主事 木村 記)



オンライン芸術祭への
アクセス

<https://bit.ly/3Oxu3v5>



こちらのQRコードまたはURLより、芸術祭のサイトにお入り下さい。